

えんだより

平成 28 年 3 月号

あおぞら水元保育園

Tel:03-3600-7080



生活発表会では、寒い中御観覧頂きましてありがとうございました。

昨年 4 月に開園しました、あおぞら水元保育園は、来月 1 歳を迎えます。

秋にはふたば、もり組保育室と図書コーナーにて大掛かりな改修工事を行い、

保護者の皆様にもご心配とご不便をおかけ致しましたが、多大なご協力とご理解を頂きました。

この一年は、歴史の 1 ページを残せた事について、子ども達と、保護者の皆様に感謝いたします。

3 月 11 日（金）挙行いたします第 1 回卒園式では、在園児に送られて 2 名の男女が就学に向けて巣立っていきます。

今月の予定

- 3/3 ひな祭り・お誕生会
- 3/4 卒園遠足
- 3/9 防災訓練
- 3/11 卒園式・お別れ会
- 3/15 入所前健診
- 3/25 進級式

★保健室より

風邪が流行しています。鼻水がでている時は、中耳炎にならないように見ていきましょう。

中耳炎は、主に細菌が中耳に入り炎症を起こす病気です。比較的、子供に多くみられますが、大人でもかかる場合があります。乳児や子どもは、耳管（じかん）が未発達で十分な長さがなく、また角度も水平に近く、細菌などが侵入しやすいと考えられています。この為、風邪をひいたとき、鼻や喉に病気が起こった時などは、中耳炎にかかりやすいとされます。耳痛、難聴、耳閉感（じへいかん：耳をふさがれたような感じ）、耳鳴り、発熱、耳だれなどの症状がみられます。

子どもの 80%は、中耳炎になっても自覚症状を訴えないといわれます。集中力の低下・返事が遅い、ボーっとしているといったことから気がつくことが多いので注意が必要です。乳児では、耳を触る、ぐずって泣くといったことがないか観察してみましょう。

中耳炎になった時に生活で注意することは、痛みや発熱のある間は安静にします。洗髪や入浴は、医師の許可を得るまで控えます。鼻は強くかまないで、左右別々にそっとかむようにします。鼻水をすする行為は、中耳炎を悪化させる場合があります。医師から治ったといわれるまでは治療を続けてください。自己判断で治療を中断すると慢性中耳炎になり、難聴を起こすことがあります。

★給食室より

もり組では、キャベツなどの葉やきのご類を使った活動を中心に行ってきましたが、今回はピーマンと赤・黄パプリカを使って活動を行いました。それぞれの野菜を見て「あか」「きいろ」「みどり」と色の名前を職員に伝えていました。又、パプリカを半分にした時にパプリカの水が顔に飛んできて「水が飛んできた」と驚いた表情をしていました。

やま組では、ミニトマトのへた取りを行いました。ミニトマトの活動は何回か行っていて、前回まではミニトマトをつぶしてしまう人が何人かいましたが、今回は 1 人もいませんでした。トマトの形に興味を示す人が多く、葉がとれたものを見て「りんごみたい」と話していました。

にじ組では、玉ねぎの皮むきを行いました。玉ねぎの緑色のところが気になる人が何人かいて「緑だね」と職員に伝えていました。みんな上手に皮を剥くことが出来ていました。

今月は、ほし組のリクエスト給食を提供します。今年は卒園児が 2 人のため、それぞれが好きなものを選び、1 日ずつ設けました。また、卒園式の日の献立も卒園児 2 人の好きなものを取り入れました。

今月の郷土料理は、ほし組のリクエスト給食を提供するため、お休みです。

【子育てアドバイス】

ご家庭で毎日子どもとの生活をしていると、突然の成長が見られて驚く事があると思います。大人にとって困る事も人間となる為に必要な段階でもあります。

* 子育てに不安を感じたら、保育園にご相談下さい。

